

平成 2 9 年度

事業報告書
決算計算書類

自 平成 2 9 年 4 月 1 日

至 平成 3 0 年 3 月 3 1 日

公益財団法人 太宰府顕彰会

平成29年度事業報告書

I 太宰府地域の歴史及び文化遺産等の調査研究及びその保護に関すること (定款第4条事業第1号)

1. 第55回 曲水の宴の開催

太宰府天満宮四度の宴（正月の内宴、三月三日の曲水の宴、七月七日の七夕の宴、十月五日の残菊の宴）の一つとされている。

開催日 平成30年3月4日（日）

会場 太宰府天満宮東神苑 文書館・曲水の庭

II 太宰府天満宮を中心とした天神信仰に係わる文化遺産等の調査研究及び保護に関すること

(定款第4条事業第2号)

1. 『太宰府天満宮の近世連歌資料の調査』

天神様は、中世(室町時代)には連歌の守り神としても崇敬され、太宰府天満宮では近世(江戸時代)に至っても連歌祈祷が行われていた。近年、全国で連歌が復興されつつある状況にあって、近世にも連綿と受け継がれてきた太宰府天満宮の連歌の作風を学び、当社における連歌復興の一助となることを目的として、調査研究を実施した。

今年度は、御記録からの連歌記事の抜粋解読を昨年度に引き続き実施し、また昨年度行った写真撮影の成果に基づき、天満宮連歌61号・62号の全作品（各作品の全句）について解読を行った。61号には一般庶民からの依頼による祈祷連歌が記録されており、62号には福岡以外の藩や、江戸・京都の武家・公家との連歌交流の記録が見られる。これらを比較することで、祈祷連歌の特徴（吉祥に関する言葉が特に多いことなど）を抽出することが可能となった。今後、様々な時代の連歌と比較し、江戸時代の祈祷連歌の特徴を明らかにしていくことが大事と考えられる。なお、この調査結果は顕彰会並びに太宰府天満宮文化研究所にて閲覧可能である。

監修者 太宰府天満宮神^{みゆかり}縁連歌会 代表 有川宜博 先生

(九州大学文学部大学院修了 日本中世史専攻
北九州市立自然史・歴史博物館 名誉館員
福岡大学非常勤講師 行橋連歌企画委員)

Ⅲ 青少年の教育・文化向上育成のための事業

(定款第4条事業第5号)

1. 書道大会の開催

第68回太宰府天満宮七夕揮毫会

開催日 平成29年8月1日(火) 2日(水) 3日(木) (3日間)
開催場所 太宰府天満宮 余香殿
参加者 1,298名 席上揮毫
成績 優勝 小学校の部 赤間小学校(宗像市)
中学校の部 城山中学校(宗像市)
文部科学大臣賞 大野陸渡(福津市) 津屋崎中学校3年生

2. 音楽会の開催

第42回青少年のための音楽会

開催日 平成30年2月4日(日)
開催場所 福岡サンパレス&ホール
参加者 福岡市、筑紫地区小学生(学校単位)
36校(参加児童数1,197名)
内容 器楽合奏、合唱、管楽の3部門による発表会形式音楽会

3. 武道大会の開催

①第38回天神旗少年空手道大会

開催日 平成29年9月10日(日)
開催場所 太宰府市 日本経済大学 体育館
参加者 77チーム 677名
内容 九州地区(道場単位)小学生低学年～高校生の部8部門
男女別個人戦 形・自由組手
成績 総合優勝 筑紫支部 晟心館(春日市)

②第42回天神旗少年柔道大会

第33回天神杯福岡県女子柔道選手権大会

開催日 平成29年11月12日(日)
開催場所 太宰府市総合体育館
参加者 小学生の部 24チーム 176名
中学生の部 24チーム 132名
女子の部
中学生 53名
高校生以上 25名
合計 386名

内 容	小学生の部	福岡県内（団体戦）
	中学生の部	福岡県及び隣接県（団体戦）
	女子の部	福岡県内（個人戦）
	各試合ともトーナメント方式による	
成 績	優勝	小学生の部 大刀洗豪武館（三井郡）
		中学生の部 大蔵クラブ（北九州市）
		女子の部
		中学生 宮崎結菜（城南中学校）
		高校生以上 田坂冨（城山クラブ）

③第42回天神旗少年剣道大会

第12回天神杯中学生剣道大会

開催日	平成30年2月18日（日）	
開催場所	太宰府市 筑紫台高等学校 体育館	
参加者	176チーム 1,137名	
内 容	福岡県内	小学生（道場単位）トーナメント方式
		中学生（個人戦）トーナメント方式
成 績	優勝	小学生の部 大野北剣道スポーツ少年団（大野城市）
		中学生の部 藤島心 原田剣心会（筑紫野市）

IV 青少年育成のための奨学金の支給

（定款第4条事業第6号）

1. 奨学金の支給

平成22年度より	全員一律	月額／10,000円支給
平成29年3月26日	平成29年度第55回生	23名
	新採用伝達式及び第1学期分奨学金授与	
平成29年8月27日	第2学期分奨学金授与	
平成29年10月1日	境内清掃奉仕 14名参加（保護者含）	
平成30年1月4日	第3学期分奨学金授与	
平成30年3月18日	第53回生（卒業）献梅	
	第53回生までの卒業生数	856名
	平成29年度までの採用者数	926名

以上